

令和3年 北海道内における住宅用火災警報器の奏功事例

※ 朝（6：00から9：59時まで）、昼（10：00から13：59まで）
 夕方（14：00から17：59まで）、夜（18：00から21：59まで）、
 深夜（22：00から1：59まで）、早朝（2：00時から5：59まで）

件数	月	発生時間	時間区分※	建物種類	感知したタイプ	出火場所	設置場所（鳴動場所）	出火原因	覚知者	原因概要	発見・通報・状況等
1	1	14:30	昼	アパート・マンション等	煙式	台所	その他（居間・不明を含む）	こんろ	居住者	ガスコンロの消し忘れ（非火）	居住者が台所でフライパンを一口コンロの火にかけたまま、居間で寝てしまったため、内容物が焦げて煙が部屋に充満し、住宅用火災警報器が発報。警報音で目が覚めた居住者がガスコンロの火を止め、火災には至らなかった。上階の客人が臭いと煙に気づき、下階の確認をした後、消防に通報したものの。
2	1	17:59	夕方	戸建住宅	煙式	台所	台所	こんろ	居住者	鍋の空焚き（非火災）	居住者が調理中にIHクッキングヒーターから目を離れたことにより鍋が空焚き状態となり、室内に白煙が充満。住宅用火災警報器が鳴動したことにより居住者が気づき警察へ通報警察経由で消防への通報、覚知に至る。
3	1	16：35頃	夕方	戸建住宅	煙式	台所	台所	たばこ	居住者	たばこの不始末	居住者が入浴中に、住宅用火災警報器が吹鳴しているのに気が付き、周囲を確認したところ、台所のシンク内のゴミ箱に捨てたたばこの吸い殻が燻っていて煙が出ているのを発見した。家人により水道水をかけて消火し大事に至らなかったもの。
4	1	19:26	夜	アパート・マンション等	煙式	台所	その他（居間・不明を含む）	こんろ	居住者	鍋の空焚き（非火災）	発見者（1101号室）は、風呂場でお湯を沸かしていたところ、住宅用火災警報器の鳴動を確認したことから、鍋の空焚きを見直し、コンロの火を止めるとともに玄関ドア及びベランダ窓を開放して換気を行った。なお、台所及び居間に住宅用火災警報器が設置されていたが、どちらが鳴動していたかは不明である。通報者は（1104号室）は、隣接（1105室）の居住者が自宅にいたところ、焦げ臭い臭気を感じ通報を依頼されたもの。
5	4	23:45頃	深夜	戸建住宅	煙式	就寢室	就寢室	不明	居住者	不明	1階にいた居住者が住宅用火災警報器の鳴動音に気が付き、2階の子供部屋に行き居室内のパネルヒーター及び付近の壁面が燃えているのを発見し119番通報後、初期消火したものの。
6	4	12:15	昼	戸建住宅	煙式	台所	階段	こんろ	居住者	天ぷら油の過熱発火	天ぷら油を火にかけたまま物を取りに行き、火をつけていることを忘れて用事を足していたところ、階段に設置した住宅用火災警報器が鳴動したことから、台所に戻ったところ、鍋から炎が立ち上がっているのを発見し、エアゾール式簡易消火具で消火し、119番通報したものの。
7	1	18:00	夜	戸建住宅	煙式	台所	その他（居間・不明を含む）	こんろ	居住者	調理中眠ってしまった	魚を焼くため、ガステーブルに火を点けたあと、隣室の居間に移動しソファに座っていたが眠ってしまった。居間に設置した住宅用火災警報器の音で目が覚めた。室内は煙が充満しており、ガステーブルのグリル排気口から炎が上がっていた。居住者が水道水で消火し、大事には至らなかったもの。
8	6	16:24	夕方	アパート・マンション等	煙式	台所	その他（不明を含む。）	こんろ	隣人	居住者が清掃したグリルを乾かすため点火し、そのまま外出したところ、グリル内から白煙が上がった。	居住者が調理のためグリルを清掃した後、乾かすためにグリルを点火し、そのまま外出した。その後、他の住人が住宅用火災警報器の音聞き、確認のために音が鳴っている部屋に行くと、鍵がかかっていなかったため、ドアを開けると白煙が出てきた。確認した住人は火事だと思い自室から通報した。
9	6	15:38	夕方	アパート・マンション等	煙式	台所	台所	こんろ	隣人	都市ガステーブルのこんろ火により可燃物が着火	発見及び通報者は、自宅にいたところ、焦げた臭気を感じたことと、何かの警報音が鳴っている状況を確認したため、火災が発生したと思い、自宅の加入電話で119番通報したものである。
10	6	21:00頃	夜	アパート・マンション等	煙式	台所	台所	その他	その他	オーブントースター内の調理物が燃焼したものの。	居住者の知人は便所内に居た際、住宅用火災警報器の鳴動が聞こえたため、便所を出ると室内に煙が漂っていた。台所のオーブントースターから煙が噴出しているのを確認したため、当機器の扉を開けたところ、約20分前から焼き始めていたラスクが燃焼していた。直ちに玄関に設置していた消火器にて初期消火を実施し、消火に至った。
11	6	12:34	昼	戸建住宅	煙式	台所	その他（居間・不明を含む）	こんろ	緊急通報システム	鍋を火にかけていることを忘れて畑で作業をしていると、台所の窓から「ピー、ピー…」と音が聞こえたので、家の中へ戻ると、居間の緊急通報システムの住宅用火災警報器が作動しており、安全センターから連絡を受ける。火や煙は見えなかったが、すぐにガスこんろの火を切り、焦げた鍋をシンクへ移動し水道水をかけたため、火災には至らなかった。	
12	6	9:00	朝	戸建住宅	煙式	脱衣所	就寢室	調査中	居住者	湯沸かし給湯器付ふろがまの排気筒	居住者は、自宅にいたところ、住宅用火災警報器が鳴っている状況を確認したため、原因を探したところ、湯沸かし給湯器に干していた、雑巾から火が上がっているのを確認し、自宅の加入電話で119番通報し、その後、布巾で手を覆い雑巾を洗面台に入れ、水で消火したものである。

令和3年 北海道内における住宅用火災警報器の奏功事例

※ 朝（6：00から9：59時まで）、昼（10：00から13：59まで）、
夕方（14：00から17：59まで）、夜（18：00から21：59まで）、
深夜（22：00から1：59まで）、早朝（2：00時から5：59まで）

件数	月	発生時間	時間区分※	建物種類	感知したタイプ	出火場所	設置場所 (鳴動場所) その他 (居間・ 不明を含む)	出火原因	覚知者	原因概要	発見・通報・状況等
13	4	1:30	深夜	アパート・マンション等	煙式	居間		たばこ	居住者	たばこの不始末	居住者が就寝中、住宅用火災警報器の鳴動で目が覚め、居間から火が出ていることを確認し消火を試みるも失敗したため屋外へ避難、119番通報したものである。
14	7	11:40頃	昼	アパート・マンション等	煙式	台所	就寢室	その他	居住者	電子レンジでサツマイモをラップで包み過加熱	居住者が、サツマイモをラップに包み台所の電子レンジで6分間の加熱を設定し、居間で子供のオムツ交換をしていたところ、就寢室の住宅用火災警報器が鳴動したため振り返ると台所が煙で充満していたため、119番通報をする。電子レンジの扉を開けたところ、電子レンジ内でさつまいもが焦げていたので、直ちに台所のシンク内にさつまいもを移動させ、水等は掛けずとも煙は収まった。
15	7	18:05	夜	戸建住宅	煙式	台所	台所	こんろ	居住者	グリル内の油かすに着火	居住者は、魚を焼いたまま入浴し風呂場から出たところ、住宅用火災警報器の警報音が鳴っており、台所のIH調理器のグリルから火が上がっているのを見つけたものである。その後、風呂桶で浴槽の水を使用して、初期消火した。通報者は、出火者から自宅の加入電話に「火災警報器が鳴っているが自分は腰が痛くて止められないので、止めて欲しい」と連絡があり、玄関を開けたところ、煙が漂っていたため携帯電話で119番通報したものである。
16	7	4:15頃	深夜	アパート・マンション等	熱式	台所	台所	こんろ	居住者	コンロ上にて鍋の加熱放置	居住者は、ソーセージを茹でるため、片手鍋に水を半分入れ、3口ガスコンロにて加熱し、リビングのソファで横になり、就寝した。その後、台所に設けられた熱式の住宅用火災警報器の鳴動音により覚醒すると、部屋中に白い煙が漂っており、ガスコンロを見ると、片手鍋からもくもくと出ている白い煙を発見したことから、ガスコンロの火を消し、台所に設けている4型粉末消火器を使用。その後、4時22分、119番通報した。
17	7	13:17	昼	アパート・マンション等	煙式	台所	就寢室	こんろ	隣人	鍋の空焚き	居住者が鍋を火にかけたことを忘れてしまい煙が発生。その後住宅用火災警報器が発報。鳴動理由がわからず近隣住民へ相談。近隣住民が駆けつけ空焚き状態の鍋を発見。すぐに火を止め消防機関へ通報したため火災に至らなかったもの。
18	8	17:45	夕方	戸建住宅	煙式	台所	就寢室	こんろ	居住者	点火したコンロから目を離しテレビを見ていたもの	夕食準備のため、鍋に入っていた少量の味噌汁を温めようとガスコンロに火をつけ、居間でテレビを見ていたところ、警報音が鳴った。原因がわからないため、向かいに住んでいる娘宅に行き状況を話し、娘夫婦が確認したところ住警器が鳴動しており、部屋が煙っていたため、119番通報した。義息子が確認したところガスコンロの火はセンサーの作動により消えており、鍋が焦げたのみでコンロ周辺、住宅内には焼損はなく、火災の危険性がないことを確認したものである。
19	8	6:58ころ	朝	戸建住宅	煙式	台所	その他 (不明を含む。)	こんろ	居住者	グリル内部に残った油に着火し出火したもの	自宅台所ガスコンロの魚焼きグリルから出火し、ガスコンロを焼損した。居住者が住警器鳴動音で火災を覚知し、やかんのお湯で初期消火及び固定電話から119番通報を行った。
20	8	18:15	夜	アパート・マンション等	煙式	台所	その他 (不明を含む。)	こんろ	緊急通報システム	フライパンにて魚を焼いたままその場を離れたもの	家人がフライパンにアルミホイルを敷き、魚を焼いている最中にその場を離れていた間に魚が焦げて煙が発生。居間に設置していた煙感知器が作動。管理会社を通じて消防覚知。家人が警報音に気づき台所に戻り火を止め火災に至らなかったものである。
21	9	13:50	昼	アパート・マンション等	煙式	台所	その他 (不明を含む。)	こんろ	居住者	魚焼きグリルで調理していたことを忘れていた	居住者が魚を焼いていることを忘れ、隣の居間にいたところ、居間の住警器の警報音により台所に煙が充満していることに気づいたもの。また台所内の魚焼きグリル排気口から約3cmの炎を目視し、コップ2～3杯の水で消火した後、消防へ通報した。
22	9	23:46	深夜	戸建住宅	煙式	台所	その他 (不明を含む。)	その他	緊急通報システム	電子レンジの内容物の過熱発火	焼き魚を温めるため、電子レンジを10分の設定で使用したところ、温めていることを失念したため、長時間過熱したことで電子レンジから煙が発生し、緊急通報システムの住宅用火災警報器が作動し、安全センターから連絡を受ける。すぐに電子レンジ内の炭化物を流し台に移動し、水道水をかけたため、火災には至らなかった。
23	9	11:50	昼	戸建住宅	煙式	台所	台所	こんろ	居住者	フライパンとグリルの空焚き	居住者が、1階台所のガステーブルに油の入ったフライパンを置き、コンロとグリルに火をつけ居間にいた。フライパンからとグリルからの煙により台所に設置されていた住宅用火災警報器(煙式)が作動し、音声により2階に居た別の居住者が気づきガステーブルのスイッチ・元栓を止めたことから火災には至らなかった。その後、119番通報をした事例である。

令和3年 北海道内における住宅用火災警報器の奏功事例

※ 朝（6：00から9：59時まで）、昼（10：00から13：59まで）
 夕方（14：00から17：59まで）、夜（18：00から21：59まで）、
 深夜（22：00から1：59まで）、早朝（2：00時から5：59まで）

件数	月	発生時間	時間区分※	建物種類	感知したタイプ	出火場所	設置場所 (鳴動場所)	出火原因	覚知者	原因概要	発見・通報・状況等
24	9	2:55	早朝	戸建住宅	煙式	居間	就寢室	ストーブ	居住者	半密閉式ストーブの自動運転モードにより自動点火し出火したもの	居住者（51歳男性）が2階寢室で就寝中、寢室および階段室に設置されていた住宅用火災警報器が作動して警報音に気付き、1階居間を確認したところ、半密閉式石油ストーブ上に置いていたダンボールから火があがっており、水道水により消火し、後日、り災証明書取得のため消防へ連絡して覚知したもの。調査の結果、現在入院中の同居する母（83歳女性）が気温が20度を下回ると自動点火する設定としていたことに居住者が気付かず、ストーブ上にダンボールを置いており、早朝の気温低下に伴いストーブが自動点火し、ダンボールに着火したと判明したものの。
25	9	8:50	朝	アパート・マンション等	煙式	台所	その他 (不明を含む。)	こんろ	隣人	鍋の空焚き（非火災）	居住者が電気こんろに鍋をかけたまま外出したため、内容物が焦げて煙が充満し、住宅用火災警報器が作動、隣人が警報音に気が付き119番通報したもの。消防隊によりこんろを消したため、火災には至らなかった。
26	10	9:12	朝	アパート・マンション等	煙式	居間	台所	ストーブ	通行人	新聞紙が液化石油ガスストーブ（開放型）に接触し、着火	発見及び初期消火者は、101号室の居間で液化石油ガスストーブ（開放型）を使用していたところ、ストーブの前に置いてあった新聞紙に火が着いているのを発見し粉末消火器を使用し消火を試みたが、消火しきれなかったものである。通報者は、隣接建物の居住者で、外出のため自宅から屋外に出たところ、出火建物101号室から何かの警報音と異臭を感じたため、101号室の玄関を開けて内部を見たところ、発見及び初期消火者が初期消火中であったため、所持していた携帯電話を使用し、119番通報したものである。
27	10	21:05	夜	戸建住宅	煙式	台所	台所	こんろ	居住者	鍋の空焚き（非火災）	居住者が鍋で調理中、寝てしまったため空焚き状態になり、住宅用火災警報器の鳴動で目が覚め白煙の上昇に気づき警察へ通報、警察経由で消防への通報に至る。
28	10	7:04	朝	戸建住宅	煙式	居間	居間	調査中	居住者	調査中	1階居間の壁に設置されているコンセントから出火。水をかけて初期消火実施し、119通報したもの(事後開知)。
29	6	12:25	昼	戸建住宅	煙式	台所	台所	こんろ	居住者	鍋の過熱	居住者が食用油の入った鍋を火にかけたことを失念し外出。帰宅した際に住宅用火災警報器が鳴動しており、住宅内部に黒煙が充満していたことから消防へ通報したものの。
30	10	18:19	夜	戸建住宅	煙式	就寢室	就寢室	モバイルバッテリー	居住者	モバイルバッテリーの充電（火災）	一般住宅の1階で家人がテレビを見ていると、警報音に気が付き鳴動している2階の居室に向くとモバイルバッテリーを充電している箇所から火が出ているのを発見した。すぐに携帯電話を置いている1階に下りて119番通報し外へ避難した。
31	11	13:00	昼	アパート・マンション等	煙式	台所	就寢室	こんろ	居住者	魚焼きグリルで調理中にその場を離れた。	ガステーブルの魚焼きグリルで調理中にその場を離れたところ、魚が焦げて室内に煙が充満したため、住宅用火災警報器が作動し、警報音に気付いた隣人が119番通報したもの。居住者がすぐにガステーブルの火を止めたため、火災には至らなかった。
32	11	14:44	夕方	戸建住宅	煙式	就寢室	就寢室	こんろ	居住者	電気こんろへの接触によりダンボール及び敷物が着火	発見、通報及び初期消火者は、自宅の居間でお茶を飲んでいたところ、寢室から警報音が聞こえたため見に行くと、室内に白い煙が濃い、電気こんろから火が上がっていたため、近くに置いてあったタオルでたたいて消火し、電気こんろのスイッチを停止した。 その後、自宅の加入電話で119番通報したものである。
33	11	7:14	朝	戸建住宅	煙式	居間	就寢室	ストーブ	居住者	トープへの接触により可燃物	発見者は、自宅の2階にいたところ、1階の住宅用火災警報器の発報音を確認し、ストーブ上の物品から火災が立ち上がっていることを発見し、2階にいた弟に通報を依頼したものである。 通報者は、自宅の2階で寝ていたところ、発見者から119番通報を依頼されたため、携帯電話で119番通報したものである。
34	11	6:03	朝	戸建住宅	煙式	就寢室	就寢室	その他	居住者	室内灯コンセント部分が雨漏りによりショートしたもの。	1階居間で就寝していた居住者（娘）が、住宅用火災警報器の鳴動で目が覚め確認すると、母親が就寝している1階寢室で住宅用火災警報器が発報しており、白煙ときな臭さを確認したので外へ避難し119番通報したものである。

令和3年 北海道内における住宅用火災警報器の奏功事例

※ 朝（6：00から9：59時まで）、昼（10：00から13：59まで）
 夕方（14：00から17：59まで）、夜（18：00から21：59まで）、
 深夜（22：00から1：59まで）、早朝（2：00時から5：59まで）

件数	月	発生時間	時間区分※	建物種類	感知したタイプ	出火場所	設置場所 (鳴動場所)	出火原因	覚知者	原因概要	発見・通報・状況等
35	11	11:50	昼	戸建住宅	煙式	台所	その他 (居間・ 不明を含む)	こんろ	緊急通報システム	ガスこんろで調理中にその場を離れた。	片手鍋を使用しガスこんろで加熱調理中に、その場を離れ居間にいたところ、緊急通報サービス会社に接続された住宅用火災警報器が発報したことにより、当サービス会社から消防通報となる。居住者が警報音に気付き、ガスこんろの火を操作ボタンにより消火し、火災には至らなかった。
36	11	17:18	夕方	アパート・ マンション 等	煙式	台所	就寝室	こんろ	居住者	鍋に火をかけたままその場を離れた。	鍋に火をかけて寝室へ移動。寝室の住宅用火災警報器の鳴動により居間に白煙が充満し台所の鍋から煙が出ているのを発見、すぐにこんろの火を消し窓を開けて換気。煙は収まったものの住宅用火災警報器が鳴りやまず119番通報。
37	11	19:19	夜	アパート・ マンション 等	煙式	台所	就寝室	こんろ	居住者	ガスコンロの魚焼きグリルの空だき（非火災）	居住者が鍋に火をかけたつもりが、間違って魚焼きグリルに火をかけてしまい、油汚れが焦げ白煙が発生。その白煙と住宅用火災警報器の警報音に居住者が気付き、ガスコンロの元栓を閉鎖させた。消防隊が現場到着時、魚焼きグリルは、台所のシンクに置いてあり、油汚れが焦げている状況で、住宅用火災警報器が鳴動していた。